

目 次

1. 本書の目的	1
2. 膜ろ過施設の特徴	1
3. 維持管理体制	2
4. 膜及び膜モジュールの選定	2
5. 運転操作	2
1) 自動運転	2
2) 運転制御	3
3) 運転管理上の留意点	3
6. 膜の劣化とファウリング	5
1) 劣化	5
2) ファウリング	5
3) ファウリング物質の観察、分析	5
7. 物理洗浄	6
8. 薬品洗浄	7
1) 洗浄時期の判断	7
2) 洗浄方法の選定	7
3) 使用薬品	7
(1) 薬品の作用	7
(2) 規格品の使用	8
4) 洗浄方法	8
(1) 洗浄方式	8
(2) リンス	8
(3) 洗浄効果の確認	8
5) 洗浄方法の手順例	8
(1) オンライン方式	8
(2) オフライン方式	9

9.	膜モジュールの保管・交換	10
1)	保管	10
2)	膜モジュール交換時期の判断	10
3)	保管・交換方法の手順例	10
(1)	ケーシング収納方式	10
(2)	槽浸漬方式	11
4)	使用済み膜モジュールの処理	11
10.	膜の破断と対策	12
1)	破断と対策	12
2)	対策例	13
11.	水量管理	14
1)	膜ろ過流束	14
2)	回収率	14
12.	水質管理	15
1)	水質管理の要点	15
2)	水質検査の頻度	15
13.	施設管理	16
1)	点検と整備	16
2)	計装設備の保守	20
14.	凝集剤	20
1)	使用目的	20
2)	注入量	20
15.	排水処理	21
1)	物理洗浄排水等の処理	21
2)	薬品洗浄廃液の処理	21
16.	遵守法令	22